

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	観光を基軸にした交流人口創出プロジェクト「温故知新」地域資源発掘・PR事業
事業主体 (連絡先)	佐久広域連合 (0267-62-7721)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,059,887円 (うち支援金: 2,361,000円)

事業内容

①地域素材収集事業

平成27年度に控える様々なイベントに向けて、季節に合った効果的な情報発信を行うため、事前に地域資源の掘り起こしとして、写真素材の収集を行った。

②佐久地域ふるさとフォトコンテスト事業

佐久地域の観光素材の新たな発見、収集、発信を行うためにフォトコンテストを開催した。入賞者表彰式及び入賞作品展示により、地域住民に佐久地域の魅力を再発見してもらうとともに、入賞作品を観光プロモーション用のポスターやチラシ、観光パンフレットに積極的に掲載し、地域の魅力を発信する。

③着地型観光情報発信促進事業

佐久地域に訪れる観光客に対して、効果的に観光情報を発信するため、GPS調査等を参考に、車で訪れる旅行者が地域の観光情報について問い合わせることが多いとされる、ガソリンスタンド、コンビニ等へ新たにパンフレットの配置を行った。

また、パンフレットの一部にアンケートを同封し、入手場所、参考になった情報、改善点等のデータを収集した。アンケート集計結果について、佐久地域観光連携協議会等と協議し、パンフレットの内容や配布先の検討を行い、パンフレットの配布がご当地情報誌の配布効果の検証となるよう取り組んだ。

④観光プロモーション事業

○北陸圏観光PRキャンペーン

平成27年3月の北陸新幹線金沢延伸を控え、北陸方面からの観光客の誘客を促進するため、MRO旅フェスタ(石川県金沢市)で、佐久地方事務所、佐久広域圏内市町村と連携してブース出展をし、観光PRキャンペーンを行った。

○首都圏観光PRキャンペーン

従来から行っている野外ブースでの観光PRキャンペーンに加え、首都圏をターゲットとして10月26日にオープンした銀座NAGANOで、地域の魅力を伝えるイベントを展開した。



地域素材収集事業では
771点の写真素材を収集



佐久地域ふるさと
フォトコンテスト大賞作品
「陽光に浮かぶ」



着地型観光情報発信促進事業で
配付した観光パンフレットと
アンケートハガキ

事業効果

①地域素材収集事業

佐久地域内の観光資源や風景を被写体とした、観光パンフレットやポスター、プロモーション等への使用にあたり制限や条件のない(但し一部制限あり)、二次利用や第三者への提供が可能な写真素材の収集を実施した。佐久広域観光連携協議会が発行した観光パンフレット「信州佐久じゃらん」でも活用してもらった。

【目標・ねらい】

- 佐久地域の持つ年間800万人が訪れるといわれる集客力の高い軽井沢高原というブランディングされた観光資源を活用し、圏域の連携により周遊促進を図るため、地域観光資源の収集、磨き上げ、効果的な情報提供、首都圏及び首都圏でのプロモーション事業を実施する。

(別記様式第12号)(第3の8関係)

②佐久地域ふるさとフォトコンテスト事業

- ・平成26年5月～作品の募集を開始(翌年1月末締切)
- ・平成27年2月27日 入賞作品の選考
- ・平成27年3月28日 表彰式開催、作品展示

2年前に開催したフォトコンテストの応募を大きく上回る102名620作品の応募があった。特に、小海線全線開通80周年ということから、小海線に関する作品が100点を超えたため、小海線の作品を新たに小海線部門を設けて表彰することとし、通常部門と小海線部門、合わせて80点の入賞作品を決定した。今後、ポスターやパンフレット作りにも活用できる写真として、地域の魅力を発信して行く素材となる。

③着地型観光情報発信促進事業

- ・観光客が地域の情報を求めて来る可能性が高い、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、レンタカー営業所へ、新たに佐久地域観光連携協議会発行の観光パンフレット「信州佐久じゃらん」等の配置を行った。
- ・平成25年度に軽井沢の別荘所有者を対象に行ったアンケートでも、長期滞在者が無料で配布されている観光パンフレットをきっかけに行動を起こすと分析されていることから、別荘を所有する方々にも観光パンフレットを目にする機会を増やすために、別荘の管理事務所や事業者などへの配布も行った。
- ・観光パンフレットの配布先には、掲載内容の意図や活用方法について、フォローアップを行い、効果的に活用してもらえるようにした。
- ・観光パンフレットの配布と同時に行ったアンケートでは、半数以上の方が観光パンフレットをきっかけに地域内を周遊していることがわかった。

④観光プロモーション事業

○北陸圏観光PRキャンペーン

- ・MRO旅フェスタ2014(石川県金沢市)
 - ・平成26年7月5日、6日開催
 - ・来場者 総勢23,500人(1日目10,500人、2日目13,000人)
- 佐久地域観光戦略会議、小海線沿線地域活性化協議会と連携し、来場者に佐久地域をPRした。



観光プロモーション
MRO旅フェスタ

○首都圏観光PRキャンペーン

- ・日本橋イベントスペース

佐久地域観光戦略会議、佐久圏域内市町村と連携し、日本橋イベントスペースで首都圏観光誘客キャンペーンを実施した。佐久地域の魅力である自然(さわやかな高原・星空)と健康長寿(地域の食・生活風土)をテーマに観光・物産キャンペーンを行った。

- ・銀座NAGANO

北陸新幹線金沢延伸を控え、首都圏をターゲットに10月26日にオープンした「銀座NAGANO」で、『～伝えたい「信州佐久」の健康な暮らし～』をテーマに佐久地域を象徴する「味噌」と「地酒」を素材に佐久地域の食文化をPRした。

銀座NAGANOのイベントは雑誌でも大きく紹介され、二次的な波及効果もあった。



観光プロモーション
日本橋イベントスペース



観光プロモーション
銀座NAGANO

今後の取り組み

平成27年3月の北陸新幹線金沢延伸で、北陸方面からの観光客増加が期待されるが、同時に首都圏の観光客が北陸方面に流れることも考えられます。そこで、他の地域にはない佐久地域の魅力を発信するため、首都圏及び北陸圏で観光PRキャンペーンを実施する。

地域観光資源収集事業や佐久地域ふるさとフォトコンテストの素材を活用し、観光客だけでなく地域の方々も使える地域内の観光施設、観光スポット、イベント等を網羅した佐久広域観光パンフレット「佐久平(仮称)」の作成を行う。

※自己評価 【A】

【理由】事業目標を達成し、佐久地域のPRは二次的な波及効果もあった。今後、事業成果をさらに活用する事ができる。